

## 東城菊組合青年と高野トマト生産者の交流会開催

【平成 29 年 3 月 8 日掲載】

庄原市東城町の東城菊組合（高柴順紀（たかしばとしのり）組合長，組合員 16 名）は栽培面積 6.9ha（平成 29 年 2 月現在）で夏秋菊の栽培に取り組んでいます。平成 27 年に 20 代の新規就農者 2 名（親元就農 1 名，独立就農 1 名）が新たに加わり，ベテラン組合員から教わりながら栽培技術の向上に励んでいます。今年は設立 30 周年を迎え，予約相対取引の増大，若い生産者の面積拡大により更なる発展が期待されていますが，組合員の高齢化や後継者不足が課題となっています。当組合の 20～40 代の生産者 4 名から聞き取りを行ったところ，「部会が主体となった担い手確保，育成の取組について先進的な高野町野菜組合トマト部会の事例を学びたい。」という意見が出ました。

そこで，平成 29 年 2 月 15 日，庄原市役所高野支所において，高野町野菜組合トマト部会（大門鯉記（おおかどりき）組合長，組合員 14 名）の生産者 2 名と東城菊組合青年生産者 4 名及び関係機関の計 14 名で，担い手の確保育成についての意見交換を目的とした交流会を，初めて実施しました。交流会では，担い手の募集や研修生受入れ時の研修方法について，積極的な意見交換が行われました。

東城菊組合の生産者からは「研修生の受入れは難しいと思っていたが，今後取り組んでみたい。」や「受入れの段取りや方法が明確になった。」との感想がありました。



【交流会での意見交換】

情報提供元

北部農業技術指導所